

平成 27 年度（小山台小学校）環境教育出前講座「みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた」の実施報告

はじめに

- 平成 24 年度から実施している「地球温暖化と交通」に関する環境教育出前講座について、本年度に開催した 2 校のうち、11 月 24 日に開催した小山台小学校の実施報告です。
- 本年度は、最新データへの更新を含め、座学用冊子の改定を行っています。

1 出前講座の概要

- JR 根岸線の本郷台駅から約 1.5km 北東側に位置する栄区の小山台小学校にて、環境教育出前講座「みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた」を実施しました。
- 小山台小学校は、本郷台駅と港南台駅の両駅から少し離れた住宅地にあり、大通りには駅に接続するバスが多く運行しています。
- 5 年生の総合学習の時間を使い、座学とグループワーク（以後 GW）形式の授業を行いました。

テーマ みんなで考える 地球にやさしく
ヒトにも便利な かしこい移動のしかた

目的 地球温暖化のしくみや、交通手段の選択と温室効果ガスの関係を学ぶとともに、GWを通じてみんなで考える。

実施日 平成 27 年 11 月 24 日（火）
1 校時 10:30～11:15 座学
2 校時 11:15～12:00 GW

対象者 小山台小学校 5 年（1 クラス）

【小山台小学校の位置と交通の特徴】

- 本郷台駅からバスで約 7 分、港南台駅からバスで約 9 分。
- 本郷台駅、港南台駅から JR 根岸線で横浜都心部まで接続。



2 出前講座の内容

- 出前講座では、「①交通手段の選択と地球温暖化との関係を学ぶ」、「②自分たちの日常生活の中での“かしこい移動”を考える」ことを目標に、以下の内容で授業を行いました。
- また、本年度は、当日の授業を自宅で家族と一緒に振り返るためのしかけとして、モビリティマネジメント学習マンガリーフレットやモビリティマネジメントに関する日めくりカレンダーなどのモビリティマネジメント啓発グッズを配布しました。

座学 交通手段と地球温暖化との関係を学ぶ

内容 パワーポイントを用い、座学を実施

配慮点 子どもたちが自ら参加する雰囲気をつくるため、授業途中でクイズを行う等、自分の考えを発言する機会を多く設けています。

教材 座学用冊子（A4 版 12 ページ） ※データ改定版
モビリティマネジメント学習マンガリーフレット（A4 版 2 ページ、2 種類）



モビリティマネジメント学習マンガリーフレット

※子どもたちに公共交通の必要性や大切さを知ってもらうため、市内専門学校の学生と協働で制作したマンガリーフレットです。

GW おつかいに行くときの「かしこい移動」を考える

内容 身近なお店や公園に、指定の“おつかい”や“遊び”に行く際の“かしこい移動”を考える GW

配慮点 大きな地図や、おつかい内容・交通手段のシールを準備し、子どもたちが自分で交通手段を考え、その内容が地球環境にどのような影響を及ぼすのかを考えられるよう配慮しました。

また、お年寄りや車いすの方など、子どもたちに同行する人、移動を考えるとときに重視する条件をサイコロで決めて、これらの状況に合わせた移動のしかたをどう変えるのか、考える機会を設けました。

教材 ①グループワーク解説書（A4 版 14 ページ）
②書き込み用地図（A1 版：右図参照）
「おつかいに行くときの移動のしかた」
③おつかいカード（シール式）
④同行者カード（シール式）
⑤交通手段カード（シール式）

■書き込み用地図（書き込み例）



MMグッズ 自宅で家族と一緒に学習を振り返るために…

内容 学んだことを家庭で振り返るきっかけづくりのため、モビリティマネジメント啓発グッズ（以後 MM グッズ）をプレゼント。

■プレゼントの例

- ①モビリティマネジメント日めくりカレンダー
- ②学習マンガリーフレット
- ③神奈中バスグッズ（ペーパークラフト、クリアファイル、シール）



■座学■



■グループワーク■



3 出前講座の結果

■座学では..

- 今回の授業は5年生を対象としましたが、これまでの学習の中でも環境に関する取組がされており、多くの子どもたちが、地球温暖化のことを「知っている」「聞いたことがある」と答えました。
- 駅から少し離れている学校の立地から、バスを使って駅に行ったり、駅の周りのお店に行ったり、身近な移動手段として、バスや電車が浸透していると考えられます。
- また、お家にクルマがあり、休日などの家族のお出かけにはクルマを使う、といった声が聞かれたことから、状況に応じたクルマの利用や、クルマの便利さについても認識していると思われます。
- 「自転車の正しい交通ルール」について学ぶ場面では、大半の子どもたちが、自転車を日常的に利用していると回答していました。一方、歩道でスピードを出してはいけないなどのルールは知っているも、守れていないことがある状況であったため、自転車の交通ルールを守ることの大切さについてもお話ししました。



■グループワークでは..

- グループワークでは、本郷台駅にある「あーすぷらざに遊びに行く」ことと、戸塚駅近傍の「トツカーナ等におつかいに行く」ことを想定し、移動手段を考えてもらいました。
- サイコロでランダムに「同行者（お年寄りなど）」と「移動の条件（環境にやさしい／楽に行くなど）」を決めてもらいましたが、本郷台駅から戸塚駅までの移動は、電車を使うグループがほとんどでした。
- お年寄りと一緒に動くグループでは、環境に配慮しつつも、少しでも移動の負担が少ないように帰りだけクルマを使うことや、環境に配慮するためにできるだけ歩く選択をすることなど、移動する状況に応じて様々な提案が出ていました。
- 出前講座の目的である【かしこい移動】とは、必ずしも「二酸化炭素を出さない」ということに固執するものでなく、おつかいの内容や、一緒に移動する人の状況、移動するときに気を付けることなどに合わせて、電車も、バスも、クルマも、自転車も上手に組み合わせて使うことを言います。
- 子どもたちは、条件に合わせて【かしこい移動】を自分たちで決めることができおり、多くのグループが、座学で学んだ環境のことを考えながら、電車やバスを上手に使う移動経路を提案しました。

4 出前講座の実施結果を踏まえた今後の進め方

■今後の進め方

- 今回の出前講座にご応募いただいた経緯は、クラスで学んでいる地球温暖化などの環境の学習の中で、少し変わった「交通」の切り口からの視点も取り入れる、という意向からのものでした。また、この講座のために作成した座学用の「地球温暖化」の冊子は、交通に限らず、環境学習の教材としても分かりやすく、使いやすいのではないかとのご意見を頂きました。
- これまでのモビリティマネジメントに関する環境講座は、「交通と環境」をテーマに、座学+グループワークの一貫した開催で進めてきましたが、例えば、ツールとしての冊子の提供や、座学だけ、あるいはグループワークだけの支援など、時間や授業の中で取り入れやすい仕組みを考えていくことも、多くの学校での開催や、同じ学校での毎年の開催などには重要であると考えます。
- また、本年度から、自宅に帰って家族と一緒に学習を振り返るしかけとして、授業後にMMグッズを配布し、家庭でもMMについて話すきっかけづくりの取組を始めました。この取組について効果を検証することも必要と考えます。

改善の取組 授業に組み込みやすい環境出前講座のあり方の検討

- 座学のみ、グループワークのみの開催や、複数日での連続講座などの授業の方法や、地球温暖化の座学用冊子の提供など、カリキュラムに組み込みやすいしかけの検討が必要。

改善の取組 家庭での学習の振り返りに繋がるMMグッズ配布の効果の検証

- MMグッズを配布することで、学んだことを家庭で振り返るきっかけとなるか、効果を見極めることが必要。

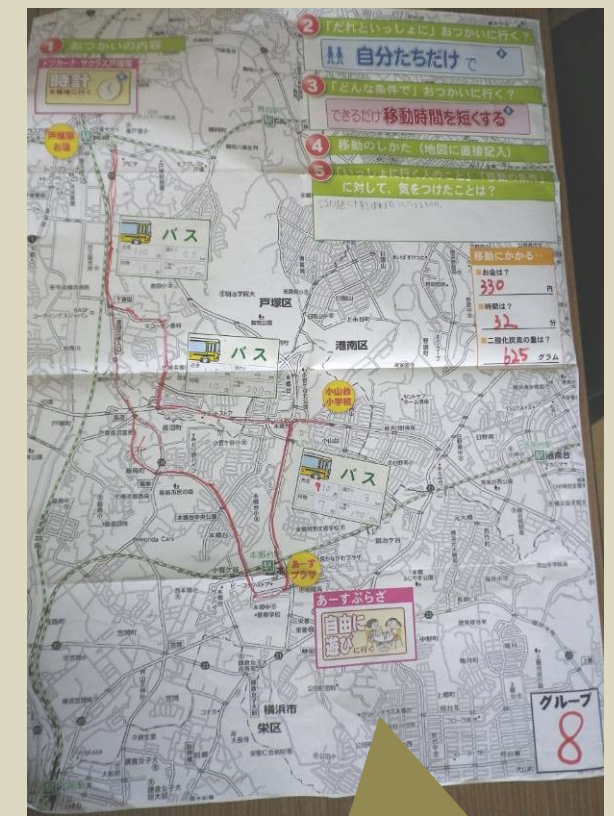
■グループワークの成果（例）



お年寄りの人と一緒に、できるだけ楽に移動することだけを考えれば、クルマを使う選択もありますが、環境のこともしっかり考えて、荷物のある帰りだけ、クルマ(=タクシー)を使う提案です。



元気な自分たちであれば、駅やバス停から歩くことができる、ということで、環境にやさしい移動を「歩く」ことで実現する提案です。歩くことが難しい距離は電車やバスを出来るだけ最短で使っています。



本郷台駅から戸塚駅まで電車だと、大船駅まで行く必要があることから、移動時間をできるだけ短くするために、目的地近くに直接行ける「バス」だけで移動する提案です。